

令和2年度（2020年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和2年度（2020年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（5点×2）

以下の語句あるいは概念を説明しなさい。解答の際は、定義だけを記述するのではなく、学説の議論状況や判例の状況など解答すべき内容を問題に応じて自ら選択し、具体的な事例を自ら設定したうえでそれぞれ解答用紙5行程度で解答すること。

（1）強制わいせつ罪における「性的意図」の要否

（2）同時傷害の特例

### 問題2（15点）

次の事例におけるXおよびYの罪責を論じなさい。ただし、住居侵入罪および特別法違反の点は論じる必要はない。

XおよびYは、資産家と名高いAの家に空き巣に入ることとし、侵入に必要な合鍵や目出し帽の調達、金庫の暗証番号情報入手などの準備を行った。決行の日、XがA宅周辺で見張りをし、Yが侵入して金庫を開け現金等を窃取する旨役割分担し、YはA宅の門扉を飛び越え敷地内に入り、さらに合鍵で玄関から家屋内に入った。A宅は無人であったためYは労せず金庫のある部屋に至り、暗証番号を入力して金庫を開けることに成功した。しかしながら、Aは家に必要以上の物を置かない性格であったため、金庫には現金2万円しかなく、その他金になりそうなめぼしいものも発見できなかったため、Yは2万円ごときで捕まったら割に合わないと思い、金庫を再び施錠して何も取らずにA宅を出た。Yは、首尾を尋ねるXに対し、何もなかったと帰ってきたというのは格好悪いと考えたため、「Aが家にいて見つかりそうになったから何とか逃げてきた」と虚偽の説明をした。